

## 南富良野町における台風 10 号の被害状況：速報

庄子 元（宮城教育大）・関根 良平（東北大）

本報告の目的は、南富良野町における台風 10 号の被害状況を周知することである。本報告の調査は 9 月 15 日に実施した。

8 月 30 日に岩手県陸前高田市に上陸した台風 10 号は、日本各地に甚大な被害をもたらした。南富良野町では町域を流れる空知川の堤防が 8 月 31 日に決壊し、幾寅地区を中心に約 200 名が孤立した。

南富良野町は北海道の中央に位置する町である（図 1）。町域を東西に空知川が貫流し、町域の中央には金山ダムによってできた「かなやま湖」が位置する。また、十勝岳、日高山脈、夕張山脈に四方を囲まれている。南富良野町は 6 地区から構成されており、住民基本台帳によれば 2016 年 8 月の人口は 2,614 人である。このうち約半数の 1,870 人が台風 10 号によって大きな被害を受けた幾寅地区に居住している。

2010 年の国勢調査によれば、南富良野町の就業人口は 1,400 人であり、内訳は第 1 次産業 22.8%、第 2 次産業 17.7%、第 3 次産業 59.4%となっている。また、南富良野町における 2015 年度の観光客数は 271,991 人（観光地点動向調査：北海道経済部観光局）である。南富良野町では、かなやま湖や空知川を活用したカヌーやラフティング、国設南ふらのスキー場における冬季のレジャー、かなやま湖畔に植えられているラベンダー鑑賞といった自然資源を利用した観光に加え、映画「鉄道員」のロケ地巡りとといったフィルムツーリズムも盛んである。

本調査における撮影地点は、幾寅地区を中心とする 8 地点（計 10 枚）である（図 2）。道の駅「南ふらの」は空知川の堤防決壊地点（写真 1）から直線距離で約 700m 離れているが、被災から約 2 週間経過した現在でも、土埃が残っている（写真 2）。空知川の川岸は濁流によって削られており（写真 3）、川岸には大量の倒木が放置され（写真 4）、撤去作業は進んでいない。また、かなやま湖は依然として濁っており（写真 5）、かなやま湖より下流の空知川でも斜面の崩壊が見られる（写真 6）。幾寅地区では倉庫等の簡易的な建築物の倒壊が確認でき（写真 7）、乗用車は完全に浸水したことがうかがえる（写真 8）。南富良野町ではエンジンや馬鈴薯を中心とする農業が盛んであるが、幾寅地区におけるこれらの畑は水没

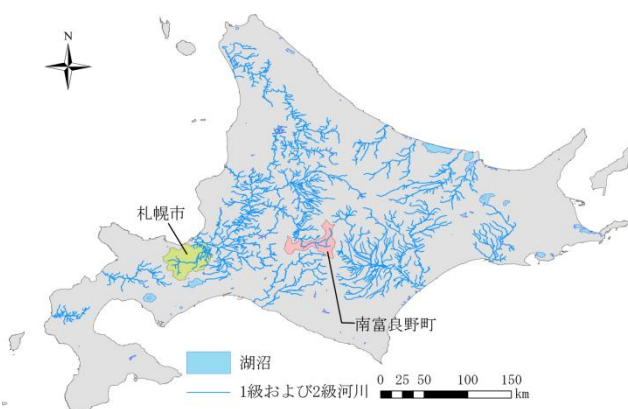


図 1 南富良野町の位置関係

国土数値情報より作成

し、泥が堆積している（写真9，写真10）。

南富良野町における被害はおおよそ幾寅地区に限定されており，推定浸水範囲は約 34haにとどまる。しかし，幾寅地区は南富良野町の中心部であり，なおかつ大規模な畑地が形成されている。そのため浸水範囲の面積以上に地域住民や地域経済に与えた影響は大きいと考えられる。

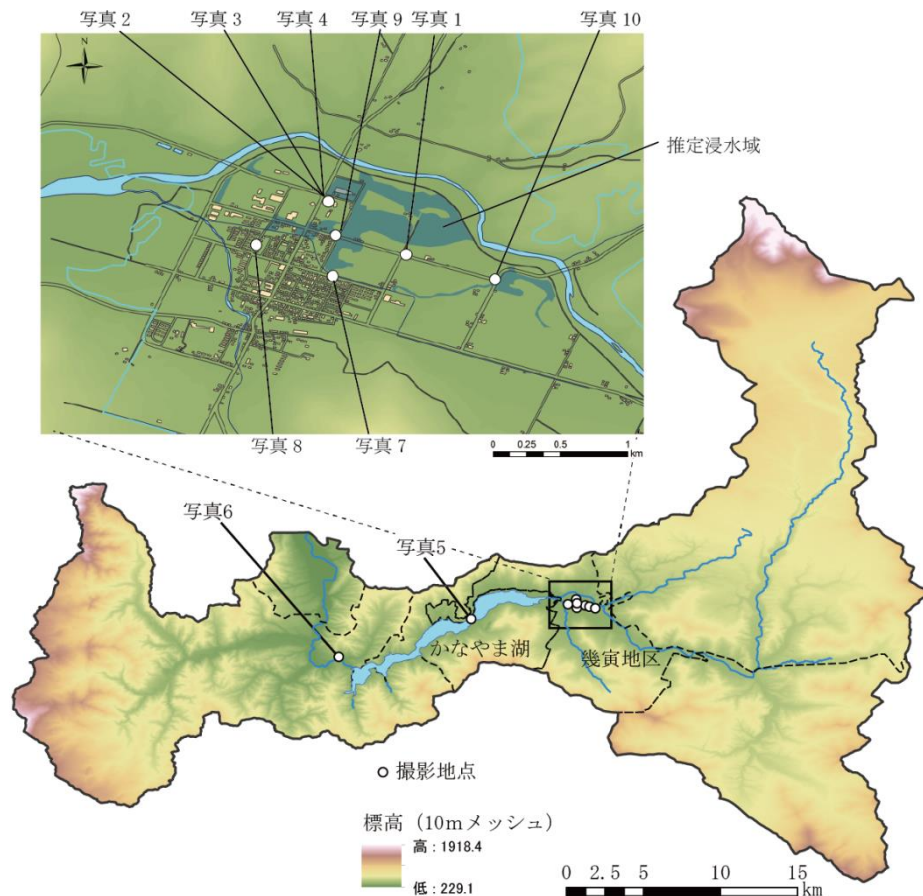


図2 南富良野町における撮影地点

国土数値情報，基盤地図情報より作成



写真1 堤防の決壊地点



写真2 道の駅の駐車場



写真3 空知川の様子



写真4 川岸に堆積した流木



写真5 かねやま湖の様子



写真6 斜面の崩壊



写真7 倒壊した倉庫



写真8 浸水した乗用車



写真9 泥が堆積した畑



写真10 浸水した畑